令和3年度 FD 実施計画書・報告書

令和3年6月現在

I 学部学科・研究科名

栄養科学部 フード・マネジメント学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No.	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容	達成度 評価
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定に向けた問題検討, 目標・計画設定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)		
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリック共通フォーマット導入の検討	I-2-(1)		
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等の設置検討	I-1-(4)		
4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・ FD センターから提供された成績評価ガイドライン(仮)(暫定案)をもとに研修会実施・意見共有	I-2-(2)		
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)		

※評価指標

【S】 達成度概ね 101%以上：計画を上回って実施し、非常に優れた成果を得た。 【A】 達成度が概ね 90%以上 100%以下：計画を予定通り実施し、良好な成果を得た。 【B】 達成度が概ね 80%以上 90%未満：計画を概ね予定通り実施し、一定程度の成果を得た。

【C】 達成度が概ね 70%以上 80%未満：計画を十分に実施していない。又は、得られた成果が不十分であった。 【D】 達成度が概ね 70%未満：計画を大幅に下回って実施した。又は、実施していない。結果が目標を大きく下回っている。

※参考（FD2021 取組一覧）

I 自主的、自律的なFDの推進と自己点検・評価、改善体制の確立

1 学位プログラムレベルのマネジメントの再確認

2 授業レベルでのマネジメントの再確認

3 教員の教育力や教職員によるFD推進活動に対する適正な評価

II 学生の学習環境整備と教員に対する支援の充実化

1 教育内容・方法の改善

2 教育環境の整備と支援の充実化

取組No.	B その他取り組み項目	B その他取り組み項目 達成内容	達成度評価
6	教学マネジメント指針の推進 ・学部合同 FD 研修会を開催し、教学マネジメント指針の理解を深め、FD2021 推進の機運を高める。		

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
6	7月	教学マネジメント指針(学部合同 FD 研修会) ・FD2021 の実現に向けて、教学マネジメント指針のポイントを理解し、ディプロマ・ポリシーに定めた学修目標を達成するための教学改善の PDCA サイクル確立、適切な学修成果の可視化と情報公表に近づくための基礎知識を修得する。栄養科学科とフード・マネジメント学科の合同開催。<大久保教授、株田教授>		
2・5	9月	学科内 FD 研修会と情報共有の場の推進 ルーブリックの推進 ・今年度の FD 教育ワークショップ(※ルーブリックの実質化をテーマとする予定)を踏まえて、ルーブリック導入率(授業ルーブリック・課題ルーブリック)の向上に向けた課題と支援策を検討する。また、ルーブリック共通フォーマットおよび DP ルーブリック導入の必要性に関する情報を共有する。<株田教授>		
4	11月	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・FD センターから提供された成績評価ガイドライン(仮)(暫定案)をもとに、授業の到達目標の達成度をより適正に評価することを目的とした学科ポリシーの策定検討に向けて、今年度は現状を情報共有し、課題の抽出を行う。<学科全教員>		

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
3	1月	<p>Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度に開始した新カリキュラムにおいて、基礎的な数学に加えて、問題を解決に導くために、どのような数学的な方法を用いたらよいかという観点から数学および数的処理の方法を学ぶ「経済・経営数学」科目を新設したところであるが、さらに数理・データサイエンス・AIに関連する科目等の設置の必要性について検討する。〈薬師寺教授〉 		
1	3月	<p>DP 達成度評価の現状と課題抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DP ルーブリックの策定に向けて、DP 達成度評価に関する現状把握と、今後解決すべき課題を抽出する。〈薬師寺教授、株田教授〉 		